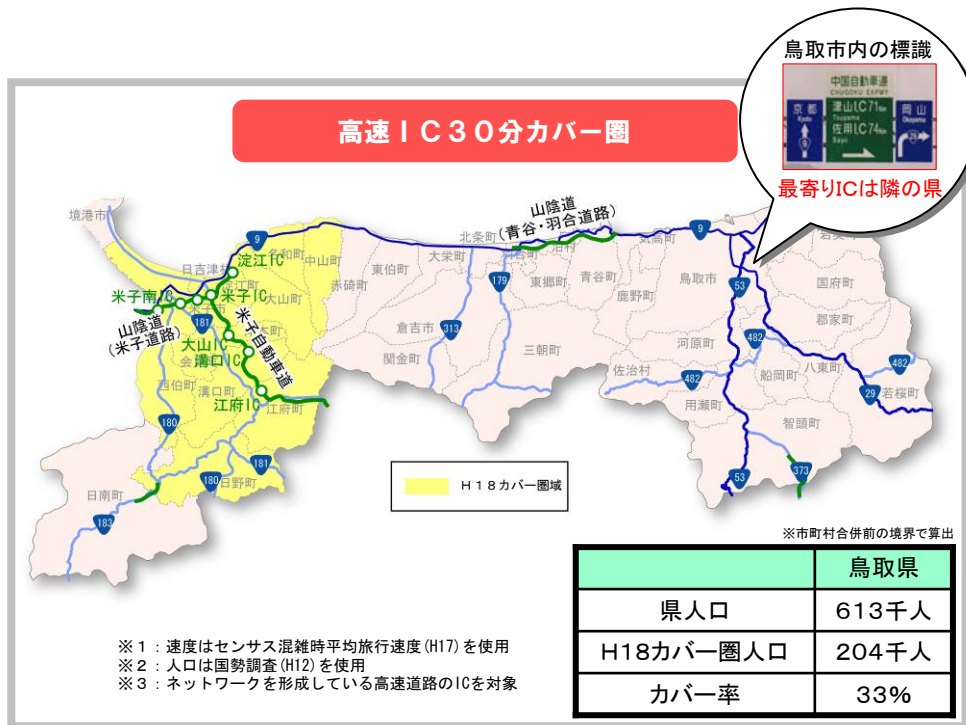


広域的な住民活動や経済活動を支援する

→ 高速IC30分カバー率

1 鳥取県の現状

- 鳥取県内の高速道路は米子自動車道のみであり、県東部側には整備されていません。（鳥取市の最寄りの高速道路ICは、岡山県内の「津山IC」、兵庫県内の「佐用IC」）
- そのため、鳥取県の高速IC30分カバー率は33%（平成18年度値）であり、十分とは言えない状況です。
- 特に県の中部及び東部地域は、カバー圏外の空白地帯になっています。



2 昨年度の成果（達成度報告）

- 平成18年度は、名和・淀江道路、東伯・中山道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、駒馳山バイパスなどの事業について整備を推進しました。このうち、北条倉吉道路が供用しましたが、鳥取県内の高速道路のネットワークに接続しないため、高速IC30分カバー率の値は変わりませんでした。ただし、高速道路ICまでのアクセス時間が短縮されました。
→「TOPICS 北条倉吉道路の開通」参照（下記）

TOPICS ～北条倉吉道路の開通～

H18年度

- ・北条倉吉道路は、鳥取県中部と岡山県北部の地域連携を促進する北条湯原道路の一部を担う道路であり、産業の活性化や住民の利便性向上が期待されています。
- ・当道路の利用により、倉吉市から山陰道大山ICまでの所要時間が短縮します。



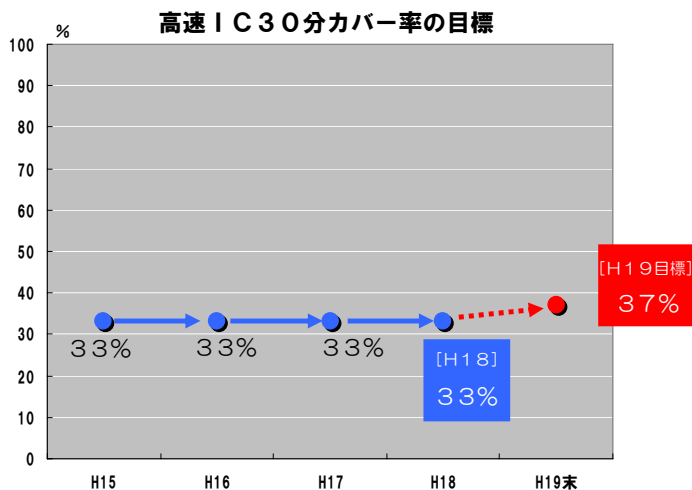
倉吉市～大山ICまで
 整備前 整備後
 約68分→約62分
 （約6分短縮）



- ※1：速度はセンサス混雑時平均旅行速度(H17)を使用
- ※2：北条倉吉道路は70km/hを使用

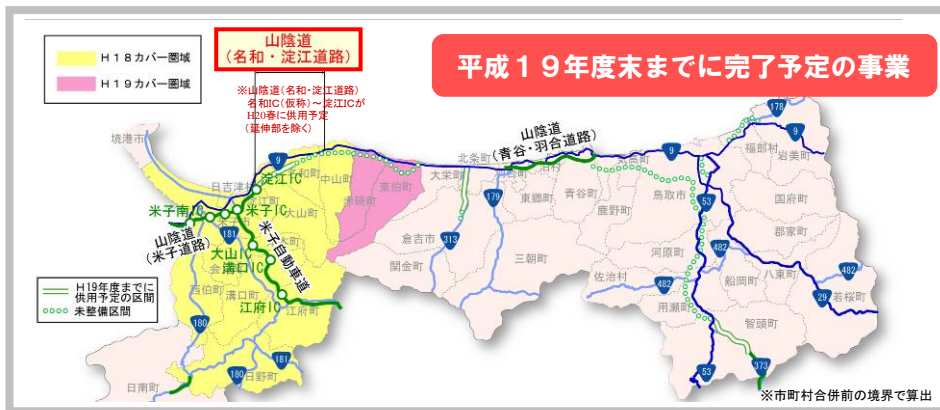
3 本年度のとりくみ（業績計画）

- 平成19年度には、名和・淀江道路が供用され高速IC30カバー圏が拡大されます。
 - よって、アウトカム指標の目標値は、4ポイント上昇の**37%**と設定します。
 - また、高速ICカバー率の向上が期待できる他の事業箇所も、早期供用を目指して整備を推進します。
- 各事業の進捗状況はp. 6～7参照



H19年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	期待される効果	備考
国土交通省	名和・淀江道路 ※延伸部を除く	高速IC30カバー圏の拡大	P13
国土交通省	志戸坂峠道路	高速ICへのアクセス時間短縮	-



整備事例

～山陰道(名和・淀江道路)～

・名和・淀江道路は、山陰の地方都市間の連携を強化するとともに、環日本海交流の基幹軸の一翼を担う道路であり、かつ国道9号の混雑緩和や災害時の緊急輸送路の代替路線などの機能が期待されています。

H18の事業内容

平成18年度は東谷川橋、名和川橋の工事を促進

事業の進捗率

93%

H19の事業内容

改良・舗装工事等促進。大山IC～淀江IC 9/29供用。H20春全線供用予定

事業の進捗目標

100%

※事業の進捗目標は、名和IC(仮称)～淀江IC間(延伸部を除く)

